

## 平成29年度調査研究活動実績

議員名 高橋 徹

### ① 鏡川及び県内河川環境向上に向けての調査研究

鏡川の上流部は豪雨災害による土砂の堆積が著しく多く鮎やうなぎ・あめごなどの生息環境は大きく悪化している。河川の管理者である高知県の河川課にも再三申し入れを行っているが、予算上計画では、後回しとなっております。つまり南海トラフ地震対策が優先されており、河川環境は悪化したままであります。

又、昨年10月21日の近年にない風台風の影響で上流部では、川岸の樹木の倒木による崩壊で悲惨な状況になっている。この事については、高知市と高知県による関係機関で連携して、樹木については撤去し崩壊した護岸については改修を両議会を通じて申し入れを行っている。

鮎の遡上については、昨年の落ち鮎漁について鏡川漁協で禁止をした事から近年にない遡上となっており大いに期待できる状況となっている。しかし例年中央地区猟友会と一体となっていて行っているカワウ等の駆除についても今年は積極的に駆除者や日数を増やす事によってカワウからの被害を減らしていく取り組みも強化しています。又昨年に引き続き提言書に添って中長期的に取り組まなければならない問題については着実に進めていくよう求められる。

### ② 道路等の整備について

国道・県道・市道・農道等、県民からの情報提供と自ら視察調査を行い、安全・安心のための道路整備についての改善策等を担当部署に情報提供を行う。特に平成5年から着手していた旭町福井線が30年2月20日に開通することから、当日は地元・旭地区町内会連合会で開通記念セレモニーを取り行い地域をあげて開通を祝した。その他北部環状線での交差点における右折レーンの設置については、時間を要しているが高知市と粘り強い交渉を行いしっかりした安全・安心の交差点となるよう取り組まなければならないと思っている。又、多くの道路改善や情報をいただいているが適格に関係機関に情報提供している事から県民から大きな評価もいただいている。

### ③ 観光振興調査研究

これまでも桂浜への観光客誘致に全力で取り組んできた所である。しかし昨年桂浜でのみやげ物売場の中心的な役割を果たしてきた闘犬センターが倒産した。センターは、土佐犬の犬種の伝承と高知における観光振興に大きく貢献してきた。私が残念に思うのは闘犬を行ってきた団体は、みやげ物販売をしている団体とは別組織でありましたが、高知県・

高知市共に存続していける状況への道を選ばず、撤退する方向へと進んでいった、誠に残念である。

次に桂浜の新たな計画については、一向に進んでいない関係者の猛省を！！

次に県全体の観光客数は順調に伸び、各々の取組みの成果が表れてきた。しかし県の予算もこれまでにない投資をしており、今後の推移を見守る必要を感じる。これからはもっと高知の自然を売り物に観光客誘致に力を入れてゆく必要を感じる。

#### ④ 木材の需要増による業界の発展について

高知県の森林率日本一のこれまでの取組みが国政による活発な動きに繋がってきた。バイオマス燃料、CLTの開発研究による需要の拡大と大いに期待をしている所であるが、これまで低迷してきた業界である事から働き手の減少が深刻化している。県による人材育成も遅きに失した感はあるが何よりも林業で家族を養う事のできる所得水準を確保する事が強く感じている。

その為には、やはり木造建築つまり県産材による需要をもっともっと増やす取組みを調査研究しなければならない。

#### ⑤ 有害鳥獣被害対策について

これまでも狩猟期以外の有害鳥獣駆除にも力を入れてきた所であるが、狩猟者の減少が問題となっている。特に若者の狩猟に対する関心を持ってもらうためにあらゆる機会を通じて広報活動を行っているが更なる広報活動を展開する必要がある。イノシシ・シカの捕獲は年々伸びてきているので、これまでの県の取組みを評価し、猟友会と一体となって、報償金の問題や狩猟を取り巻く環境を更に改善していく必要を感じている。

高知県では幸いにも他損による人身事故が発生しておらず、これからも事故のない狩猟現場となるよう徹底した指導を行っていく事が必要である。